

社会福祉法人 共生の丘
 救護施設 共生の杜
 〒321-0347
 栃木県宇都宮市飯田町 261 番地
 Tel : 028-648-2422
 FAX : 028-648-9160

もりだより 第4号



正月の餅つき!

メリークリスマス。

お誕生会のケーキです。

申年の年男と年女さん

平成二八年度ご挨拶
 施設長 森理恵子

この度、平成二十四年度より共生の杜に勤められていた佐藤哲也施設長が三月で退職いたしました。

そのため、後任として小生が四月一日より施設長として拝命を賜りました。前任者と同様、皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

平成二十八年度共生の杜事業につきましては、昨年度再開した居宅生活訓練事業や多目的棟の活用をより一層充実、発展させていきたいと考えております。その上で利用者様のADLの向上や自立支援の促進を図り、循環型施設としての機能を果たしていきたいと思っております。



また、法人として社会福祉法人の存在意義を地域社会に啓蒙し、地域社会の皆様や利用者様とその家族の方々に必要とされる法人として質の高いサービスを提供し続けることを目標に掲げていきたいと思っております。

これまで同様、「優しく、親切、丁寧」をモットーに、利用者様やスタッフ間の連携を密にして、施設の向上、発展に寄与していきたいと考えております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。



利用者様のお話し

私はこの施設にお世話になって丸一年が経ちました。この間、色々迷惑をかけてしまい後悔が残る一年になってしまいました。しかし、この一年で施設内の作業に参加する機会も徐々に増え、自立に向け調理訓練などにも参加しています。私はいずれ、以前のように地域で暮らすことが目標です。

Fさん (五十五歳) 女性

私は、父が自分の会社を持っていたため小さい頃は裕福に暮らしていました。学校も短大まで行かせてもらい音楽の先生をやる事が夢でした。その先二十五歳で結婚し子供を二人授かりました。しかし、五年後に主人が亡くなり、私は心の病気になるりました。病院に通っている頃に共生の杜を紹介され入所しました。私には姉がいます。できれば姉ともう一度暮らしたいです。もし暮らせることになったら姉に迷惑をかけたくないの、身の回りの整理整頓・料理

が少しでも出来るようになりたいです。また体を丈夫にして備えていきたいです。これから共生の杜にて色々挑戦していきたいです。

Sさん (七十八歳) 女性

私は、共生の杜にお世話になり半年が経ちました。半年前は右も左も解らず足も動かなくなっていました。でも、職員さんたちのおかげで足も動き今では、以前のよう自立した生活に向けて施設内での調理訓練や行事に積極的に取り組んでいます。私はいずれ共生の杜を出ようと考えています。最終的な目標ですが、二、三時間くらい働きながら生活してゆけたらと考えています。これからも共生の杜で以前の感覚を取り戻していきたいです。

Hさん (六十三歳) 女性

皆様、地域に戻って生活する事を目標にしています。出来ることから少しずつ進めていきたいと思います。

作業やりハビリ風景を掲載します。生け花や缶つぶしのリサイクルを実施しています。



編集後記

暖冬と言われた季節も終わり、新緑の季節を迎えます。ところで皆様は「花粉症」の方は居ますか？栃木県の名所に「日光杉並木」があり、世界最長の並木道です。林業も盛んであり、つまり花粉の飛散量も毎年多いのです。施設の屋上には花粉が砂模様になるほど積もります。アレルギーのある方は想像しただけで涙が出そうですね。



お庭の花を、利用者様がアレンジしてくれました。上手ですね。

多目的棟

昨年度より建設していた新棟が完成し、十二月より様々な行事で活用しています。一階は内職などが行える作業スペースになっています。

二階は会議や調理訓練など様々な事に使用できる場所になっており、シャワーやキッチンが完備された居宅訓練室があります。



竣工式にて

自立訓練班のご紹介
自立訓練班では「施設内自立」と「施設外自立」を目標にしています。利用者の皆様には「共助」の意識を持っていただき、できることはご自分でやっていただく他、共有スペースの清掃や食事の配膳等を行えない方のためにも活動しています。

「施設内自立」では、主に買い物実習や施設から地域生活へ移る前の訓練として、実際のアパートで生活全般にチャレンジしていただくという「居宅生活訓練事業」を行っています。訓練の中で新たな課題が見つかったり、訓練を経てできるようになったり、内容は人それぞれです。これらも達成できた時の喜びを職員も一緒に感じていけるように頑張っていきたいと思っています。

百合・ひまわり部署
支援主任 金山

年間行事など

～クリスマス会～



白熱のビンゴ大会。Xマスプレゼントは私が頂き！

手作り、味噌作り

～誕生日会～



誕生日会でケーキのプレゼント

利用者手作りコーナー



自立訓練班が調理訓練にて作った食べ物です。どうです？とても美味そうでしょ？

多目的棟の様子



作業

式典

居宅訓練室

調理訓練

共生の杜では毎週、作業療法士をお招きし、リハビリにも力を入れていきます。ご紹介するにあたりいくつかの質問をしてみました。

作業療法士・野尻真生さんへ
Q1・作業療法士になつたきっかけは？

野：リハビリには3つの職種があるが、音楽やモノづくりなどの趣味が沢山あったので活かせるような作業療法士になりました。

Q2・個別のリハビリでは。どんなところに重点を置いていきますか？

野：雑談です(笑)はたから見るとそうですが、色々な方の「その人だけの人生」をお持ちです。その人を知るような話し方を一番大切に

し、その人と繋がって信頼関係が出て来きてそれで初めてリハビリが始まると思っています。

Q3・作業療法士として辛い事、楽しいことは？

野：辛い事は感じないです。総じて楽しんでいきます。法人にも利用者様にも私を受け入れて頂いているので「僕も何かやろう」と心動かされています。ですから毎回楽しんでいきます。

Q3(意地悪に)でも、他の現場とかで難しいと感じたことは？

野：大変なことはあっても、チームワークで楽しく切り替えて行くのが好きなので辛いとまではいけません。職員…すごいなあ。発言が格好いいですね。

野：(録音中の)マイクあるから(笑)



個別メニューの様子。全体でのリハビリとは別に実施。

左) 野尻様 (作業療法士) 右) リハビリ班リーダー